藤間秋男の

# 100年企業創りレポート

●今月の経営テーマ　“新たな心で仕事に向き合おう!”

新たな心で仕事に向き合うことで次のようなメリットがあります。

①初心を思い返すことができます　②自分の仕事の棚卸しができます

③仕事の仕方を見直すことができます　④工夫やアイデアが湧いてきます

⑤やる気が高まります

株式会社コスモ教育出版『理念と経営』カレンダーより

(1) お客様から大変うれしいメールと色紙をいただきました。「TOMAの工さん始め皆様のおかげで10年ぶりに決算賞与を支給することが出来ました。本当に感謝しております」とメールをいただき、大きな色紙に
①おかげ様で大きく成長できました。TOMAの工さんのサポートのおかげです。私がやりきれない部分を工さんが笑顔でサポートしてくれた事は一生忘れません。(会社代表)
②工さん、工さん!! いつも優しい笑顔で接してくれ、かけていただく言葉のほとんどが褒め言葉で手本にします。
③だいぶ長いお付き合いです。会社の変化を感じて下さっていると思います。これからも優しい眼差しで見守って頂けたら幸いです。
他たくさんのお言葉。涙が出るほどうれしいです。
会社の業績が良くなって褒めてくださる。TOMA社員の最高の喜びです。本当にありがとうございます。
TOMAの工さんはTOMAの誇りであり宝です。

(2) 挫折の真価 (救う力 一古閑季人著 廣済堂出版)
①良い経験ともに、悪い経験も味わった人でないとわからない人生の豊かさ。
②失敗や挫折のない人生は豊かではない。
人は、人生を豊かにしたい、「幸せに生きたい」と願うが、起伏のない安定した人生に豊かさは宿らない。真の豊かさとは良い経験と悪い経験の落差のことだ。
落差を何度も味わってこそ人生は豊かさを増していく。
行動することに臆病であってはならない。知恵を絞りつづけなければ。
行動しなければ、プラスもマイナスもない。一生、ゼロのままだ。

(3) 人生・仕事の結果 = 考え方 × 熱意 × 能力 (稲盛和夫)
①この公式は平均的な能力しか持たない人間が偉大なことをなしうる方法はないだろうかという問いに私が自らの体験を通して答えたものである。
②能力は、多分に先天的なもの。(0〜100)
③「熱意」は、自分の意志で決められます。(0〜100)
④「考え方」は人間として生きる姿勢 (−100〜100)
それらのかけ算になるので、考え方がマイナスの人はいつまでもマイナス。能力が普通でも熱意と考え方がプラスであれば、はるかに素晴らしい結果を残すことができる。

(4) 七十にして心の欲する所に従えども矩(のり)を踰(こえ)ず。(先日100歳を超えておなくなりになった伊藤忠商事より学んだ論語の一句)
孔子様の言葉
①15で学を志し、30になって一つの信念を持って世に立った。
②40になって物の道理がわかるようになって迷わなくなった。
③50になって自分が天のはたらきによって生まれ、また何者にもかえられない尊い使命を授けられていることを悟った。
④60になって人の話や天の声が素直に聞けるようになった。
⑤70を過ぎる頃から自分の思うままに行動しても決して道理を踏み外すことがなくなった。
藤間は孔子様とは違い、迷い、天命を完全に見つけられず、素直になれていません。しかし、これからも学び、実行し、悩み続けて迷わず天命を知り、素直になって最後は自分の思うままに行動しても決して道理を踏み外さないような人間になりたいです。そのために努力し続けます。

(5) 松下幸之助が示した重役心構え6ケ条 (木野親之)
①会長、社長は互いに一体となって会社業務全般を統御していくこと。会長、社長は重要問題について

お互いが、すべてを知り合っておくよう努めること。

③会長、社長は確固たる経営の基本方針を遵守することに精励し、同時に広く社会から寄せられる当社への要望と期待に正しく答えていくことに努力する。

③現業は専務または常務どまりとする。会長、社長は経営に関しては重要かつ基本的な問題について指摘し指示するものとし、個々の業務に関する具体的指示をする必要のなくなることが望ましい。

④会長、社長はじめ現業重役諸氏は、社会のすべての人々を師匠と仰ぎ常に礼節を重んじ謙虚な態度で接すること。率先垂範すると同時に、全従業員にこの要旨を徹底すること。（80歳の時会長辞任の際に示したもの）

私も、今年の10月には会長となります。社長と二人三脚で、互いの足りないところ、できないところをフォローしながらやっていきたいと思います。私は市原前社長の応援団長になります。

（6）感動経営コンサルタントになりました。（次号から少しずつ紹介していきます。）

感動経営コンサルタント協会の代表の臥龍が、30年かけて開発したコンサルティング手法を学びました。

「クライアントの社長と従業員が輝き、クライアントのお客様が感動し増収増益軌道に乗る「感動企業」を毎年10社以上生み出し「高度幸福化社会」創造の一隅照となることを使命としています。

①事業とは個客の創造と個客の離脱阻止である。

感動経営では顧客ではなく個客とし、一人ひとりのお客様の顔の見えるお付き合いを志向しています。そして市場縮少の時代お客様の離脱防止も重要である。

②伸びる会社、儲かる社長のたった一つの特徴は、「重要だけど緊急でない仕事」をやり切る。

逆に社長や幹部の「忙しい」の中身が、納期仕事やクレーム仕事などの「重要で緊急な仕事」で占められている会社は成長・発展し続けることは絶対にない。

「重要だけど緊急でない仕事」とは、ⓐ経営理念の確立と浸透 ⓑ夢ビジョンの作成、確立浸透 ⓒ働きがいのある会社作り ⓓ社員を巻き込んだ毎月の行動計画作り ⓔ毎朝 朝礼の反省会議（幹部、社員）ⓕ行動計画の実行度合による人事制度構築 ⓖ新商品開発 ⓗ社員教育 ⓘ新市場開拓 ⓙ営業戦略 ⓚ価格政策 ⓛ新卒採用などいろいろあります。これらをやり切らないと成長・発展はありません。けれども後まわしやできないとあきらめている会社があります。結論はすべて経営計画の中に入れ込むことです。（TOMAで経営計画策、実施状況チェックなどお手伝いさせていただきます）

月刊「理念と経営」1月号より

（10年間藤間と社員とお客様で学び続けてTOMAは売上2倍になりました。）

（1）「理念と経営」の勉強会

①努力とストレスは苦ではなく、ストレス食べて活力としています。①～③円羽前伊藤忍会長、羽生棋士 ④～⑦部梅原宿泊直社長

②信頼できるとは言われたことをきちんとやる。新入社員の第一の鉄則

③人間は死ぬまで努力。考えもしないような幸運が舞い込むのは努力しているから。⑧～⑨甲斐よぐら社長 ⑩～⑫田村徳太郎

④お客様に喜ばれる革新を重ね新しい酒文化を創造する。

⑤社長業は決めること。社員からの提案も結局は決めることである。

⑥改革できるのは「よそ者・ばか者・若者」よそ者は養子他

⑦いい時こそ次に向けての手を打たなければなりません。

⑧経営者が止まると会社の成長もそこで止まる。

⑨理念を浸透させるには経営者が志の高さと使命感を内省する。

⑩「七つの徒手空拳」してこそ、初めて天賦の才能を気づく。

⑪社長力とは人格向上と経営能力の両を絞って努力を継続すること。

⑫自分に甘え、人に甘える生き方だけは改めて、努力は必ず報われる。

**日めくりKAZU　魂のメッセージ「底力」01**（三浦知良 著　PHP研究所）より

- 人生には山も谷もある　谷も楽しんでいたい。
- 道がないわけではない。
- 真剣にやる中でも遊び心を持っていたい。
- こんなところで終わっていいのかよ!
- 遠回りをしたところで得るものもある。
- 学ぶことを知っている人は誰のせいにもしない。
- たった1センチでもいい。前に進もう。
- 人生は成功も失敗も五分。あきらめないことが肝心。
- 夢は語ったほうがいい。いわなきゃ始まらない。
- うれしさは一瞬で消える。悔しさは後で胸が痛む。
- とにかく今日を一生懸命精一杯やる。
- 人生に偶然はない。逃げずに力をつけよう。